

ISSN 1340-5144

福井県的大型底生動物調査報告書

第 1 報

— 九頭竜川、日野川、足羽川 —

1993

福井県環境センター

は　じ　め　に

福井県は、越前（嶺北）の山、若狭（嶺南）の水に象徴されるように広がる緑と豊かな水に恵まれた自然を有しています。

その嶺北では、加越・越美山地を源とする九頭竜川は上流に大野盆地を形成し、下流では日野川、足羽川などの各支流を合わせて福井平野を潤し、日本海に注いでいます。嶺南では、若丹山地が入り江や湾の多い海岸まで迫り、奈良、東大寺二月堂の「お水送り」神事で有名な「鶴の瀬」の遠敷川や北川、南川など大小様々な河川が若狭湾に注いでいます。

これらの河川の水は良質で、豊富なことから様々な面で私たちに恩恵を与えてくれます。しかしながら、近年の産業活動の進展や生活様式等の変化から、一部の都市河川などでは水質や水生生物の生息などの環境に変化が見られます。良好な水質はもとより多種・多様な生物種が豊富に生息することが健全な河川の姿でないかと思えます。

こうしたことを背景に、本県では従来から実施している理化学的な測定試験に加えて、大型底生動物を環境指標とした調査等を行っています。この大型底生動物調査は、平成5年度を初年度として3カ年計画で体系的に県下の主要河川について実施し、今後の長期的な河川環境の評価、環境改善に役立てるものです。

本報告書は、第1報として九頭竜川、日野川、足羽川についてとりまとめたもので、今後の水辺環境の保全や、より良い環境の創造にお役に立てれば幸いに存じます。

最後に、この報告書をまとめるにあたり、資料として「日本産水生昆虫検索図説」を抜粋、転載することに快諾していただきました奈良女子大学名誉教授川合禎次博士ならびに東海大学出版会に対して、ここに深く感謝いたしますとともに、調査マニュアル(案)、同研究実施計画書等の引用にご配慮していただきました環境庁水質保全局、全国公害研協議会環境生物部会およびその関係者の方々に厚く御礼いたします。

平成6年3月

福井県環境センター
所長 郡 寄 隆 次

目 次

1	目 的	1
2	調査方法	1
2. 1	調査概要	1
2. 2	平成5年度調査	2
2. 2. 1	調査作業と担当者	2
2. 2. 2	調査対象河川と調査地点	2
2. 3	環境調査	3
2. 3. 1	環境調査実施時期	3
2. 3. 2	環境調査項目	3
2. 4	水質調査	4
2. 4. 1	調査実施時期	4
2. 4. 2	測定項目と測定方法	4
2. 5	大型底生動物調査	4
2. 5. 1	調査地点	4
2. 5. 2	調査実施時期	4
2. 5. 3	試料の採集	4
2. 5. 4	採集試料の処理と分類	4
2. 5. 5	評価手法	5
3	調査結果	6
3. 1	環境調査	6
3. 1. 1	九頭竜川	7
3. 1. 2	日 野 川	11
3. 1. 3	足 羽 川	15
3. 2	水質調査	19
3. 2. 1	九頭竜川	19
3. 2. 2	日 野 川	20
3. 2. 3	足 羽 川	21
3. 3	大型底生動物調査	22
3. 3. 1	九頭竜川	22
3. 3. 2	日 野 川	23
3. 3. 3	足 羽 川	24
4	ま と め	27
4. 1	調査地点の河川環境	27
4. 2	大型底生動物の出現状況	27
4. 3	水質測定結果	27
4. 4	A S P T 値による評価	28
4. 5	水質測定結果とA S P T 値との関連性	28
5	引用文献	29
	【参考資料】	
参考資料 1	スコア表	31
参考資料 2	大型底生動物の同定方法	32
参考資料 3	大型底生動物の目の検索表	33
参考資料 4	大型底生動物識別検索図	34
参考資料 5	大型底生動物代表種の特徴	36